



# 2022年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年8月3日

上場会社名 株式会社 紀陽銀行  
コード番号 8370 URL <https://www.kiyobank.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 原口 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画本部長 兼東京本部長 (氏名) 横山 達慶

TEL 073-426-7133

四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 特定取引勘定設置の有無 無

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	22,442	14.7	8,269	81.2	5,550	109.4
2021年3月期第1四半期	19,572	17.3	4,563	54.0	2,650	62.7

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 6,314百万円 (23.9%) 2021年3月期第1四半期 8,294百万円 (304.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	82.11	82.03
2021年3月期第1四半期	39.05	39.00

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	5,882,496	249,043	4.2
2021年3月期	5,664,467	245,699	4.3

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 247,233百万円 2021年3月期 243,940百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。  
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		35.00	35.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)		0.00		35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	38,000	2.8	8,800	13.9	5,700	15.3	84.29
通期	75,600	4.2	18,200	10.9	11,500	15.4	170.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	70,300,000 株	2021年3月期	70,300,000 株
期末自己株式数	2022年3月期1Q	3,010,337 株	2021年3月期	2,677,847 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	67,592,892 株	2021年3月期1Q	67,876,430 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【添付資料】

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(追加情報) .....	6

※2022年3月期 第1四半期決算説明資料

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における連結経営成績につきましては、貸出金利息や有価証券利息配当金が増加したことや、預金等利息が減少したことなどにより、資金利益は増加しました。また、役務取引等利益は増加し、営業経費は減少したものの、国債等債券損益は減少しました。

以上などにより、経常収益は前年同期比28億70百万円増加の224億42百万円、経常費用は前年同期比8億36百万円減少の141億72百万円、経常利益は前年同期比37億6百万円増加の82億69百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比29億円増加の55億50百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における連結財政状態につきましては、総資産が5兆8,824億円、純資産が2,490億円となりました。

貸出金につきましては、中小企業向け貸出や大企業向け貸出が増加したことなどから、前連結会計年度末比564億円増加の3兆3,276億円となりました。

預金・譲渡性預金につきましては、前連結会計年度末比1,307億円増加の4兆5,874億円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、今後の経済・金融情勢等により有価証券関係損益や与信関連費用等が変動する可能性があるため、2021年5月14日に公表しました業績予想から変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	1,216,774	1,443,432
買入金銭債権	38	62
商品有価証券	54	54
有価証券	1,077,055	1,004,167
貸出金	3,271,208	3,327,620
外国為替	2,540	2,302
その他資産	51,243	59,229
有形固定資産	34,277	34,417
無形固定資産	2,966	3,054
退職給付に係る資産	25,714	25,845
繰延税金資産	580	606
支払承諾見返	8,619	8,351
貸倒引当金	△26,607	△26,648
資産の部合計	5,664,467	5,882,496
<b>負債の部</b>		
預金	4,413,441	4,540,714
譲渡性預金	43,324	46,767
債券貸借取引受入担保金	184,714	193,372
借入金	709,314	776,214
外国為替	272	363
その他負債	50,235	57,263
退職給付に係る負債	29	29
睡眠預金払戻損失引当金	626	589
偶発損失引当金	389	397
繰延税金負債	7,801	9,388
支払承諾	8,619	8,351
負債の部合計	5,418,767	5,633,452
<b>純資産の部</b>		
資本金	80,096	80,096
資本剰余金	2,835	2,835
利益剰余金	141,773	144,827
自己株式	△4,505	△4,985
株主資本合計	220,200	222,774
その他有価証券評価差額金	14,848	16,036
繰延ヘッジ損益	29	3
退職給付に係る調整累計額	8,862	8,419
その他の包括利益累計額合計	23,740	24,459
新株予約権	100	106
非支配株主持分	1,658	1,703
純資産の部合計	245,699	249,043
負債及び純資産の部合計	5,664,467	5,882,496

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
経常収益	19,572	22,442
資金運用収益	11,265	11,824
(うち貸出金利息)	8,208	8,488
(うち有価証券利息配当金)	2,972	3,131
役務取引等収益	3,485	4,199
その他業務収益	3,572	3,522
その他経常収益	1,249	2,895
経常費用	15,008	14,172
資金調達費用	461	173
(うち預金利息)	106	38
役務取引等費用	1,228	1,318
その他業務費用	1,234	2,912
営業経費	8,863	8,259
その他経常費用	3,220	1,508
経常利益	4,563	8,269
特別利益	—	0
固定資産処分益	—	0
特別損失	84	42
固定資産処分損	4	42
減損損失	80	—
税金等調整前四半期純利益	4,478	8,227
法人税、住民税及び事業税	1,343	1,810
法人税等調整額	488	824
法人税等合計	1,832	2,635
四半期純利益	2,646	5,592
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,650	5,550

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	2,646	5,592
その他の包括利益	5,647	722
その他有価証券評価差額金	5,903	1,192
繰延ヘッジ損益	△21	△25
退職給付に係る調整額	△233	△443
四半期包括利益	8,294	6,314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,282	6,268
非支配株主に係る四半期包括利益	11	45

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

1. 収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の損益及び利益剰余金期首残高に与える影響は軽微であります。

2. 時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下、「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りに用いた仮定)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りに用いた仮定については、当第1四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した内容から重要な変更はありません。



# 2022年3月期 第1四半期 決算説明資料

## 【 目 次 】

1. 損益の状況(単体)	.....	P 1
2. 預金等、貸出金の残高(単体)	.....	P 2
3. 預かり資産残高、預かり資産関連販売額(単体)	.....	P 2
4. 自己資本比率(連結)(単体)	.....	P 2
5. 時価のある有価証券の評価差額(単体)	.....	P 3
6. 金融再生法開示債権(単体)	.....	P 3

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 株式会社 紀陽銀行

## 1. 損益の状況

- 当第1四半期の単体の経営成績につきましては、四半期純利益が5.4億円となり、業績予想に対し順調に推移しております。  
 ○資金利益は、貸出金利息が増加したことなどから、前年同期比8億円増加の11.6億円となりました。  
 ○役員取引等利益は、事業性関連収益や預かり関連収益の増加などから、前年同期比6億円増加の2.1億円となりました。  
 ○与信コスト総額は、個別貸倒引当金が取崩しとなったことなどから、0億円となりました。  
 ○コア業務純益(除く投資信託解約損益)や顧客向けサービス業務利益などの本業の利益は順調に増加しております。

(単位:百万円)

(単体)	2022年3月期 第1四半期 (a)	比較(a-b)	2021年3月期 第1四半期 (b)	2022年3月期 業績予想値
1 経常収益	20,445	2,906	17,539	33,700 (第2四半期累計期間) 66,400 (通期)
2 業務粗利益	14,163	301	14,464	
3 資金利益	11,662	853	10,809	
4 うち貸出金利息	8,496	284	8,212	
5 うち有価証券利息配当金	3,133	160	2,973	
6 うち投資信託解約損益	802	444	358	
7 うち預金等利息( )	38	69	107	
8 役員取引等利益	2,150	633	1,517	
9 その他業務利益	350	1,788	2,138	
10 うち国債等債券損益	269	1,806	2,075	
11 経費(除く臨時処理分)( )	8,329	259	8,588	
12 実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	5,833	42	5,875	8,950 (第2四半期累計期間) 18,550 (通期)
13 うちコア業務純益	5,563	1,763	3,800	8,150 (第2四半期累計期間) 16,750 (通期)
14 うちコア業務純益(除く投資信託解約損益)	4,760	1,319	3,441	7,650 (第2四半期累計期間) 16,250 (通期)
15 一般貸倒引当金繰入額( )	345	143	488	
16 業務純益	5,488	102	5,386	
17 臨時損益	2,520	3,285	765	
18 不良債権処理額( )	220	657	437	
19 (与信費用 + ( ))	(124)	(802)	(926)	
20 うち貸出金償却( )	54	3	51	
21 うち個別貸倒引当金繰入額( )	296	661	365	
22 償却債権取立益	125	43	82	
23 株式等関係損益	1,097	1,789	692	
24 その他臨時損益	1,076	795	281	
25 経常利益	8,008	3,387	4,621	8,600 (第2四半期累計期間) 17,400 (通期)
26 特別損益	42	42	84	
27 税引前四半期純利益	7,965	3,429	4,536	
28 法人税等合計( )	2,531	732	1,799	
29 法人税、住民税及び事業税( )	1,726	468	1,258	
30 法人税等調整額( )	805	264	541	
31 四半期(当期)純利益	5,434	2,697	2,737	5,600 (第2四半期累計期間) 11,000 (通期)
32 与信コスト総額( )	0	820	820	3,000 (第2四半期累計期間) 5,500 (通期)
33 顧客向けサービス業務利益	2,837	1,450	1,387	4,770 (第2四半期累計期間) 9,930 (通期)

- (注) 1. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、国債等債券損益(債券5勘定戻)控除後の業務純益です。  
 2. 与信コスト総額は、与信費用に償却債権取立益などの与信関連損益を加味して算出してあります。  
 3. 顧客向けサービス業務利益は、以下の通りです。  

$$\text{顧客向けサービス業務利益} = \text{貸出金平残} \times \text{預貸金利回差} + \text{役員取引等利益} - \text{営業経費}$$
  
 4. ( )は損失項目です。

## 2. 預金等、貸出金の残高

(単位:百万円)

(単体)	2021年6月末	2021年3月末比		2021年3月末	2020年6月末
		2021年3月末比	2020年6月末比		
1 預金・譲渡性預金(期末残高)	4,608,043	131,502	270,235	4,476,541	4,337,808
2 うち預金	4,551,276	128,060	280,148	4,423,216	4,271,128
3 うち個人預金	3,102,052	40,735	111,519	3,061,317	2,990,533
4 貸出金(期末残高)	3,340,724	57,213	189,178	3,283,511	3,151,546
5 うち消費者ローン	1,075,521	19,143	71,455	1,056,378	1,004,066
6 うち住宅ローン	892,688	15,464	61,481	877,224	831,207
7 中小企業等貸出金(期末残高)	2,478,953	26,913	186,508	2,452,040	2,292,445

## 3. 預かり資産残高、預かり資産関連販売額

(単位:百万円)

(単体)	2021年6月末	2021年3月末比		2021年3月末	2020年6月末
		2021年3月末比	2020年6月末比		
1 預かり資産残高(期末残高)	133,344	8,555	20,156	124,789	113,188
2 投資信託	129,217	8,619	20,510	120,598	108,707
3 国債等	4,127	64	354	4,191	4,481

(単位:百万円)

(単体)	2021年6月期	2020年6月期比		2020年6月期
		2020年6月期比	2020年6月期	
1 預かり資産関連販売額	31,134	15,342	15,792	
2 投資信託	19,681	10,454	9,227	
3 証券仲介	2,688	836	1,852	
4 個人年金保険等	8,764	4,052	4,712	

## 4. 自己資本比率(国内基準)

(単位:百万円)

(連結)	2021年6月末	2021年3月末比		2021年3月末
		2021年3月末比	2021年3月末	
1 自己資本比率(2÷5)	10.56%	0.16%	10.40%	
2 自己資本(3-4)	210,527	4,055	206,472	
3 コア資本に係る基礎項目	231,907	4,534	227,373	
4 コア資本に係る調整項目	21,379	478	20,901	
5 リスク・アセット等	1,991,850	6,611	1,985,239	
6 総所要自己資本額(5×4%)	79,674	265	79,409	

(単位:百万円)

(単体)	2021年6月末	2021年3月末比		2021年3月末
		2021年3月末比	2021年3月末	
1 自己資本比率(2÷5)	9.90%	0.15%	9.75%	
2 自己資本(3-4)	197,874	3,895	193,979	
3 コア資本に係る基礎項目	214,416	4,969	209,447	
4 コア資本に係る調整項目	16,541	1,074	15,467	
5 リスク・アセット等	1,997,184	8,615	1,988,569	
6 総所要自己資本額(5×4%)	79,887	345	79,542	

## 5. 時価のある有価証券の評価差額

(単位:百万円)

(単体)	2021年6月末				2021年3月末		
	評価差額	2021年3月末比	評価益	評価損	評価差額	評価益	評価損
1 満期保有目的	16	186	6	23	170	170	-
2 その他有価証券	21,336	2,107	31,069	9,732	19,229	34,345	15,115
3 株式	19,757	1,779	20,224	466	21,536	21,736	199
4 債券	2,830	1,116	3,990	1,160	1,714	3,780	2,066
5 その他	1,279	2,797	6,826	8,106	4,076	8,772	12,849
6 (注3)	27	28	27	-	55	55	-
7 総合計	21,319	1,919	31,076	9,756	19,400	34,515	15,115

(注) 1. 有価証券のほか、買入金銭債権中の信託受益権も含めております。

2. 時価のある子会社・関連会社株式はございません。

3. 変動利付国債の保有目的区分変更(「その他有価証券」から「満期保有目的」へ)により発生した評価差額を記載しております。

## 6. 金融再生法開示債権

(単位:百万円)

(単体)	2021年6月末	2021年3月末比		2021年3月末	2020年6月末
		2021年3月末比	2020年6月末比		
1 破産更生債権及びこれらに準ずる債権	15,005	401	325	15,406	15,330
2 危険債権	54,976	858	10,081	54,118	44,895
3 要管理債権	12,731	2,016	6,183	10,715	6,548
4 小計	82,713	2,473	15,940	80,240	66,773
5 (合計債権残高に占める割合)	(2.44%)	(0.04%)	(0.36%)	(2.40%)	(2.08%)
6 正常債権	3,306,815	53,880	172,171	3,252,935	3,134,644
7 合計	3,389,529	56,353	188,111	3,333,176	3,201,418

以 上

## 2022年3月期 第1四半期決算について

2021年8月3日

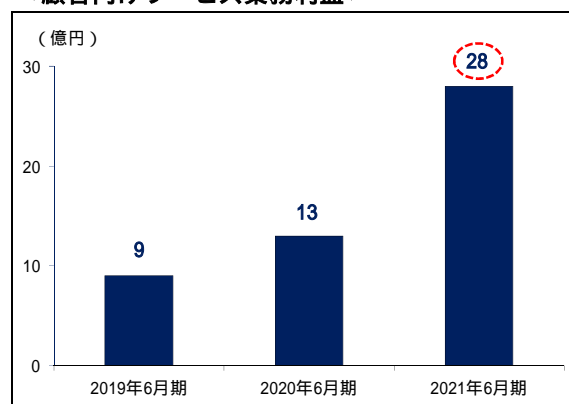
- ・当第1四半期の単体の経営成績は、四半期純利益が前年同期比27億円増加の54億円となりました。
- ・資金利益は、貸出金利息が増加したことなどから、前年同期比8億円増加の116億円となりました。
- ・役務取引等利益は、事業性関連収益や預かり資産関連収益が増加したことなどから、前年同期比6億円増加の21億円となりました。
- ・コア業務純益（除く投資信託解約損益）や顧客向けサービス業務利益は前年同期比増加するなど、本業の利益は順調に増加しております。

## &lt;業績概要（単体）&gt;

（単位：億円）

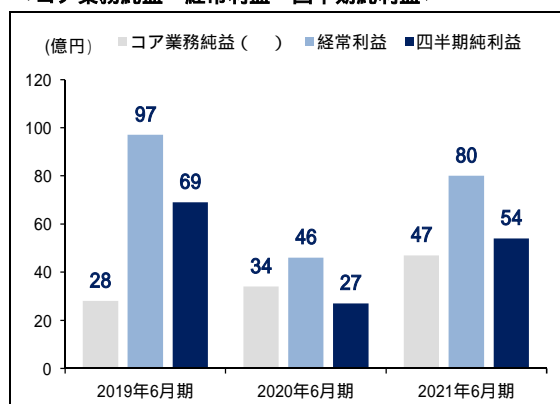
	2021年6月期		2020年6月期
		前年同期比	
1 業務粗利益	141	3	144
2 資金利益	116	8	108
3 うち貸出金利息	84	2	82
4 うち有価証券利息配当金	31	2	29
5 うち投資信託解約損益	8	5	3
6 うち預金等利息（ ）	0	1	1
7 役務取引等利益	21	6	15
8 うち役務取引等収益	36	8	28
9 うち役務取引等費用（ ）	14	1	13
10 その他業務利益	3	18	21
11 うち国債等債券損益	2	18	20
12 経費（ ）	83	2	85
13 実質業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	58	0	58
14 うちコア業務純益	55	17	38
15 うちコア業務純益（除く投資信託解約損益）	47	13	34
16 一般貸倒引当金繰入額（ ）	3	1	4
17 業務純益	54	1	53
18 臨時損益	25	32	7
19 うち不良債権処理額（ ）	2	6	4
20 うち償却債権取立益	1	1	0
21 うち株式等関係損益	10	16	6
22 経常利益	80	34	46
23 特別損益	0	0	0
24 法人税等（ ）	25	8	17
25 四半期純利益	54	27	27
26 与信コスト総額（ ）	0	8	8
27 顧客向けサービス業務利益	28	15	13

## &lt;顧客向けサービス業務利益&gt;



顧客向けサービス業務利益  
= 貸出金平残 × 預貸金利回差 + 役務取引等利益 - 営業経費

## &lt;コア業務純益・経常利益・四半期純利益&gt;

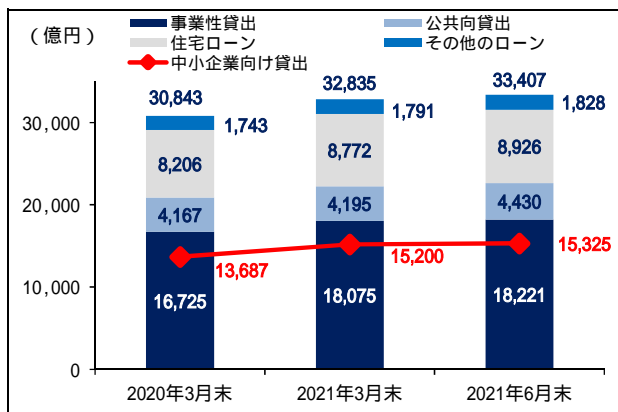


除く投資信託解約損益

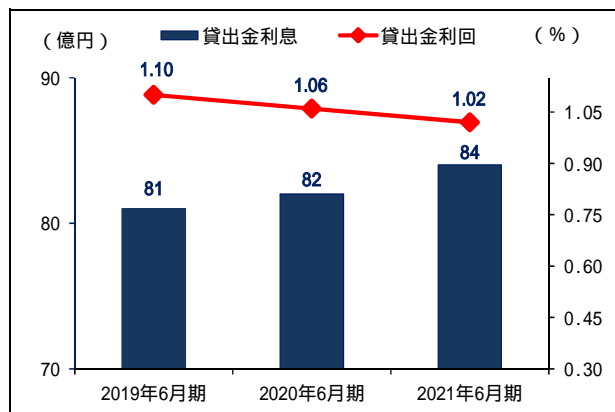
「顧客向けサービス業務利益」につきましては、貸出金利息や役務取引等利益が増加し経費が減少したことなどから、前年同期比15億円増加の28億円となりました。この「顧客向けサービス業務利益」については「銀行の本業で稼ぐ力」を示した重要な指標であると認識しており、当行は「顧客向けサービス業務利益」の増強に注力していきます。

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

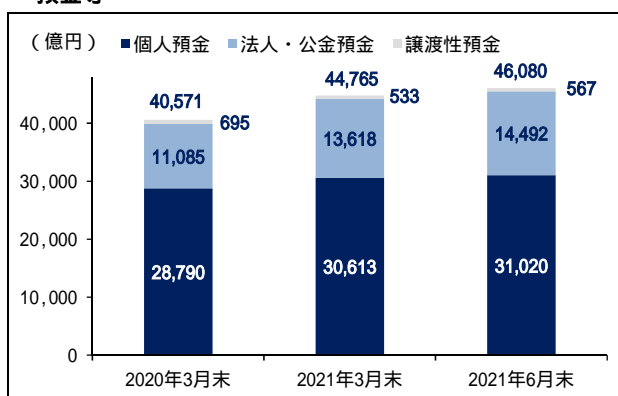
< 貸出金残高・中小企業向け貸出 >



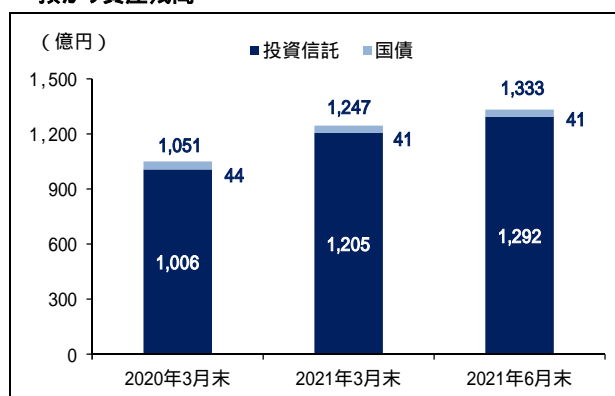
< 貸出金利息・貸出金利回 >



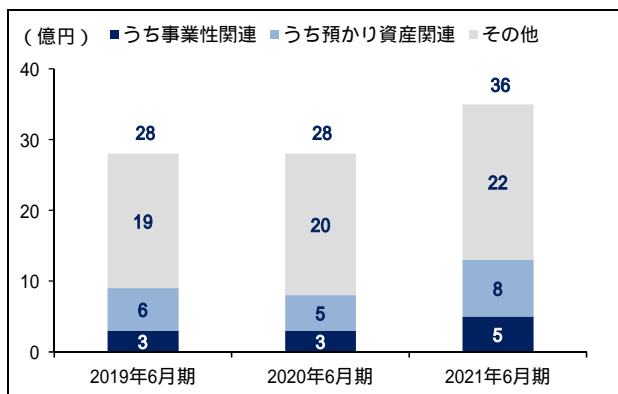
< 預金等 >



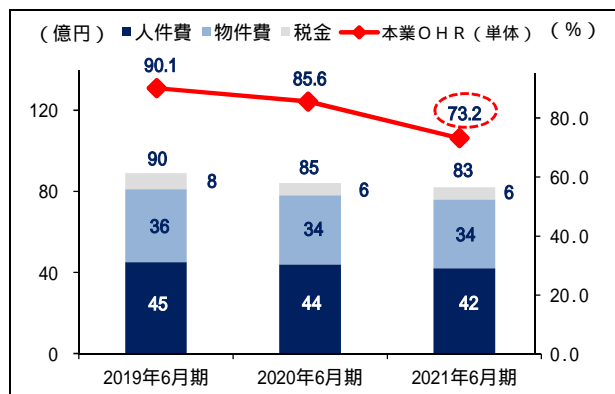
< 預かり資産残高 >



< 役務取引等収益 >

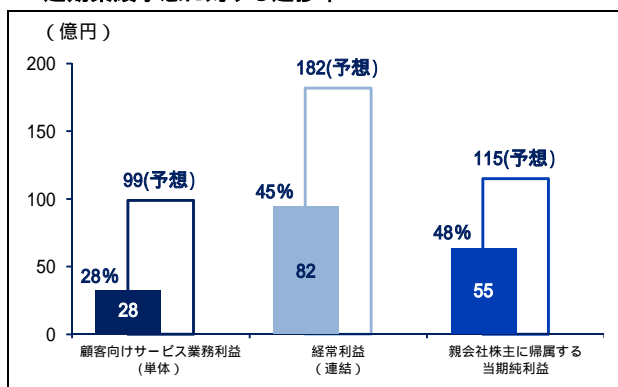


< 経費・本業OHR >



本業OHR < 単体 >  
 = 営業経費 ÷ ( 貸出金平残 × 預貸金利回差 + 役務取引等利益 )

< 通期業績予想に対する進捗率 >



< 自己資本比率 >

